

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
1 自然を愛し共生する まちづくり (32指標)	1	市民一人当たりの一年間のごみ排出量	Kg	299	目標値	293	290	287	284	281	概ね達成	91.0	H25年度まで可燃ごみとして排出されていた衣類を、資源ごみとして各地区センターに配置した衣類回収ボックスに排出したに加え、紙ごみを正しく分別したことにより可燃ごみの量が減った。今後はさらに可燃ごみと資源ごみとの分別強化を図る。	環境課
					実績	321	312	316	312					
	2	廃棄物のリサイクル回収量	t	242	目標値	247	252	257	262	267	達成	114.1	可燃ごみと資源ごみを正しく分別することの徹底が図られたことや、1年を通して回収活動を行う団体が増えたことで目標値の達成となった。今後もPR活動を実施する。 (23年度41団体、24年度44団体、25年度44団体、26年度48団体)	環境課
					実績	282	325	288	299					
	3	市民環境団体登録数	団体	37	目標値	56	57	58	59	60	達成	115.3	自然環境保護団体5団体、こどもエコクラブ15団体、資源集団回収団体48団体が登録となっている。今後も継続して、団体の増加を図る。	環境課
					実績	60	66	65	68					
	4	小中学校の環境学習の実施	回	63	目標値	66	69	72	75	78	達成	101.3	小中学校水生生物調査19回、こどもエコクラブ48回、清養園クリーンセンター9回の合計76回実施した。新たなエコクラブの活動として、風車見学等の情報発信、環境展でのエコクラブ活動の展示を行ったことにより活動回数の増加につながった。	環境課
					実績	94	78	69	76					
	5	こどもエコクラブ登録会員数	人	201	目標値	259	270	281	292	300	達成	122.9	登録クラブ数は減少したが、人数は昨年度と同程度となった。脱退したクラブは活動を実施していないことが理由だったため、今後はエコ活動に関する情報を各クラブに提供していく。 (25年度 16団体 26年度 15団体)	環境課
					実績	277	295	360	359					
	6	公営住宅整備戸数	戸	12	目標値	12	10	—	—	—	/	/		建設課
					実績	15	7(10)	—	—	—				
7	木造住宅耐震診断戸数	戸	5	目標値	20	20	20	20	20	未達成	20.0	平成17年度から実施し、平成26年度に4戸の計160戸の診断を行った。申し込みが増えない要因としては、今まで大丈夫だったからの理由で、耐震診断をしないで住宅の老朽してきている設備や内装等をリフォームしていること。そして、耐震診断の結果で耐震補強工事を実施するには多額の費用がかかることから、診断を行うことに慎重になっていることなどがあげられる。今後も広報、遠野テレビ、関係団体、設計事務所及び建築業者を通じて、継続して事業のPRに努めていく。	都市計画課	
				実績	10	2	5	4						
8	木造住宅耐震改修戸数	戸	1	目標値	5	5	5	5	5	未達成	40.0	平成19年度から実施し、平成26年度までに13戸が耐震改修を行った。耐震診断を実施した方で、耐震補強工事が必要であるという結果になっても耐震補強工事に多額の費用がかかることから、改修を実施する方が伸び悩んでいる状況にある。今後も、耐震診断と耐震改修の活用PRと併せて、快適スマイル応援事業等の助成事業の活用をセットとしたPRを継続して行うとともに、機会を捉えて関係団体等への周知を図っていく。	都市計画課	
				実績	1	1	0	2						
9	土地区画整理事業における整備面積（累計）	ha	43.3	目標値	46.4	48.1	50.4	50.9	51.3	達成	100.0	土地区画整理事業の整備面積は、すでに事業完了している稲荷下地区が27.1ha、平成25年度事業完了の下一日市地区が5.1haであり、2地区の合計面積が、32.2haとなっている。現在事業中の稲荷下第二地区は、平成26年度に0.5haを整備し、累計で18.7ha（進捗率95.0%）となり、土地区画整理事業全体の整備予定面積51.9haに対し50.9haを整備した。	都市計画課	
				実績	47.3	49.7	50.4	50.9						
10	都市公園整備面積（累計）	ha	49.47	目標値	49.47	49.47	49.87	49.87	49.87	概ね達成	99.3	都市公園の東館公園について、稲荷下第二地区土地区画整理事業による土地の有効活用を図るため、事業において整備した1号公園を東館公園に都市計画変更したことにより都市公園整備面積が増えた。今後も、稲荷下第二地区土地区画整理事業による公園整備を進めていく。	都市計画課	
				実績	49.47	49.47	49.47	49.50						
11	水道普及率	%	90.3	目標値	90.6	90.7	90.9	91.1	91.2	概ね達成	99.9	給水人口は、前年度と比較して414人減少したものの、分母となる行政区内人口が480人減少したことに伴い水道普及率は、前年度と比較して0.1ポイントの増となった。引き続き、水道整備区域内の水道未加入者に対し、加入を促進して水道普及率の向上に努める。	水道事務所	
				実績	90.7	90.8	90.9	91.0						
12	汚水処理整備率	%	56.3	目標値	60.5	62.4	64.4	66.5	68.5	概ね達成	95.9	公共下水道整備による新規供用開始面積の増加が少なく、下水道管渠に接続可能な世帯数及び人口の増加が計画より若干下回った。公共下水道整備事業等集団処理区域の整備がほぼ終了し、今後は浄化槽による整備が課題であるが、今後も、浄化槽設置整備事業費補助金等の周知を徹底するなど汚水処理整備率の向上を目指す。	水道事務所	
				実績	59.4	60.0	61.9	63.8						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
1 自然を愛し共生する まちづくり (32指標)	13	汚水衛生処理率（水洗化率）	%	44.5	目標値	49.0	51.1	53.4	55.7	57.9	概ね達成	99.3	今年度の浄化槽の設置が58基と計画より上回ったものの、新に公共下水道に接続する件数が去年より減少したため実績が計画より若干下回った。 今後も、浄化槽設置整備事業補助金制度を継続するとともに、未接続者に対して利子補給補助金や快適スマイル応援事業等の設置工事費負担軽減制度等の周知を図ることによって水洗化率の向上を図る。	水道事務所
					実績	49.3	50.0	53.3	55.3					
	14	水洗化率	%	79.1	目標値	81.0	81.9	82.9	83.8	84.6	達成	103.5	浄化槽設置事業の拡充(青笹2区の設置組合団体設立と活動)などにより、今年度の浄化槽の設置が58基と実績が計画より上回った。	水道事務所
					実績	83.0	83.4	86.2	86.7					
	15	市道改良率	%	48.1	目標値	48.1	48.1	48.2	48.3	48.3	達成	100.4	全延長1,290,360m、改良延長625,820mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、市道改良工事を促進する。	建設課
					実績	48.2	48.2	48.5	48.5					
	16	市道舗装率	%	46.0	目標値	46.2	46.3	46.4	46.4	46.5	概ね達成	96.8	全延長1,290,360m、舗装延長579,960mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、市道舗装工事を促進する。	建設課
					実績	44.6	44.6	44.9	44.9					
	17	自主防災組織活動支援数（累計）	団体	—	目標値	5	10	15	20	25	達成	130.0	90行政区中86行政区が結成済みである。未結成の4行政区については個別に結成を促している。更に26の組織に対して、防火防災講習活動を実施して地域防災力の強化を図った。	消防総務課
					実績	11	20	30	26					
	18	救急救命士の数（累計）	人	10	目標値	13	14	15	16	17	達成	100.0	救急救命士養成所に1名派遣、救急救命士の資格取得させ、救命率の向上を図った。	消防総務課
					実績	13	14	14	16					
	19	防災関係講習会等の参加者数	人	—	目標値	300	350	400	450	500	達成	272.0	総合防災センター及び各自主防災組織等で開催したチャレンジ防災スクール、消防フェア及び防火防災講習会を通して、児童生徒及び自主防災組織等の自助・共助意識の高揚を図った。	消防総務課
					実績	1,170	1,188	1,050	1,224					
	20	消防水利の整備（累計）	箇所	866	目標値	869	871	873	875	877	達成	100.2	遠野市消防水利計画に基づき、消火栓3基及び防火水槽（耐震性貯水槽）2基を新設した。また、地域状況の変化により消火栓移設1基を行うなど消防水利の充実を図った。 ・新設消火栓 小友町高木、上郷町佐比内、東館町（土地区画整理事業） ・新設防火水槽 小友町外山、青笹町青笹 ・移設消火栓 上郷町蛇野	保安施設課
					実績	872	872	874	877					
					目標値	148	149	150	151	152				
					実績	149	149	149	151					
	21	消防団ポンプの更新整備	台	消防団 2	目標値	2	2	2	3	2	達成	100.0	消防団動力ポンプ3台を計画どおりに更新したことにより、地域防災力の強化を図る事ができた。 ・ポンプ更新 附馬牛町東禅寺、綾織町根岸、上郷町川原	保安施設課
					実績	2	2	2	3					
	22	小型ポンプ積載車の更新整備	台	消防団 2	目標値	2	2	2	5	6	未達成	80.0	消防団動力ポンプ積載車1台、軽積載車2台を更新した。また、消防団本部用として、公益財団法人日本消防協会より防災活動車の交付を受けるなど消防団車両の整備充実を図った。 ・団車両更新 附馬牛町東禅寺、綾織町根岸、上郷町川原 未整備分は、経年及び老朽度合いをみながら、地域防災の不安とならないよう取り組む。	保安施設課
					実績	2	2	1	4					
	23	特殊車両の更新整備	台	消防本 部 0	目標値	1	1	1	—	1	達成	100.0		保安施設課
					実績	1	1	0	—					
24	コミュニティ消防センターの更新整備	箇所	消防地 所 0	目標値	1	0	2	1	1	未達成	0.0	蓬田地区コミュニティ消防センター整備に向けて、土地候補の選定に時間を要した。建設予定地を確保したが、地域から集会所部分の整備を要望されている建物であり、建設費用に地域負担が関わってくるため、今後は地域と十分な協議をしながら建設整備に取り組む。	保安施設課	
				実績	1	0	1	0						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
1 自然を愛し共生する まちづくり (32指標)	25	応急手当講習会参加者数	人	1,707	目標値	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	達成	116.4	前年度は、県立病院250名、小学校（3校）259名、中学校（3校）496名と多数参加者の講習会が多く、実績が伸びた。26年度は、一度に多く参加した講習会はなかったものの上向き傾向にある。今後は、企業、観光施設など新たに講習範囲を広げ、講習会の普及に努める。 救命入門コース 23回 677人 普通救命講習Ⅰ（3時間） 30回 534人 普通救命講習Ⅱ（4時間） 10回 83人 普通救命講習Ⅲ（3時間） 14回 217人 その他講習 8回 332人 上級救命講習（8時間） 1回 13人 応急手当普及員講習（24時間） 1回 6人 合計 87回 1,862人	遠野消防署
					実績	1,785	1,637	2,471	1,862					
	26	応急手当普及員養成人数	人	—	目標値	22	34	14	14	14	未達成	42.9	講習時間が24時間（3日間）と長時間であることから、受講しやすい日程（例：金・土・日、3週間）としたが、6人（学生3人、福祉施設1人、その他2人）の養成にとどまった。 今後も、市内の施設、企業へ積極的に必要性を呼び掛け要請に努める。	遠野消防署
					実績	13	9	8	6					
	27	火災発生率（1万人当りの出火割合）	—	5.9	目標値	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	未達成	64.3	火災件数が12件と前年より6件減少した。要因としては野外焼却（火入れ）による延焼拡大及び不始末による火災が減少したことによる。 引き続き、防災行政無線・IP告知放送による市民への注意喚起及び消防署・消防団による巡回警戒を強化し、火災予防に努める。 火災件数 建物7件、車両3件、その他2件	遠野消防署
					実績	4.8	5.7	6.1	4.2					
	28	消防団員の確保	人	892	目標値	930	980	1,000	1,010	1,030	概ね達成	92.0	基本消防団員と機能別消防団員で、入団者が46人であり増員を図ったが、団長改選期に伴い、消防団幹部の退団が多かったため、退団者が52人である。 新入団員の募集活動に加え、現役消防団員の活動継続の呼び掛けに努める。	遠野消防署
					実績	891	921	935	929					
	29	防犯教室の開催	回	48	目標値	50	50	50	50	50	概ね達成	94.0	小学生を対象とした防犯教室のほか、高齢者を対象とした振り込み詐欺をはじめとする特殊詐欺への対処法等の講習会を開催し、住民の防犯意識高揚を図った。 今後も引き続き各地区の防犯協会や警察署と連携を図るとともに、各種団体行事や会合の機会を活用しながら防犯教室等の開催に取り組み、目標の達成に努めていく。	市民協働課
					実績	39	42	41	47					
	30	消費生活相談講座の開催	回	36	目標値	18	18	18	18	18	未達成	33.3	例年高齢者を対象とした出前相談講座を開催しているが、防犯講習会と重複することもあり、受入団体が少なく目標を達成できなかった。 引き続き、地区センターや各種団体と連携し、高齢者を対象とした出前講座の受講機会拡大を図るとともに、今後は、小学生を対象とした講座の開催も進め、消費者教育・啓発活動の充実を図る。	市民協働課
					実績	1	17	11	6					
31	交通事故発生件数	件	81	目標値	80	70	60	50	40	達成	119.0	目標を達成することができたが、依然と高齢者が関係する事故が多いことから、交通安全関係団体による街頭啓発や交通安全意識の啓蒙活動を継続する。	市民協働課	
				実績	63	75	52	42						
32	交通事故死亡者数	人	1	目標値	0	0	0	0	0	未達成	0.0	車両と歩行者、車両単独の2件の交通死亡事故が発生した。今後も引き続き「交通死亡事故ゼロ」を目指し、特に高齢者、自転車の交通事故防止の活動を推進する。	市民協働課	
				実績	2	2	3	2						
33	ケーブルテレビ加入率(全体)	%	69.5	目標値	80.8	80.9	81.0	81.1	81.2	達成	103.6	転入世帯（19件）や、引込線有加入世帯（22件）があり目標値を上回る結果となった。 また、平成27年3月31日正午にデジアナ変換サービス終了に係る地上デジタル放送用チューナーの無料給付を行うなど、遠野テレビ加入者へのサポートを行い、解約防止に努めた。	ICT・医師確保担当	
				実績	81.9	83.0	83.6	84.0						
34	遠野テレビインターネット加入者数	人	2,335	目標値	2,550	2,610	2,670	2,730	2,790	達成	109.6	インターネットの加入促進として、加入者宅内配線工事費補助金を活用し目標件数を達成した。 しかしながら、大手通信業者のエリア化の影響で加入者を奪われる状況（△64）となっている。遠野テレビの独自サービスであるタブレットリモコンの普及やインターネットサポートアドバイザーによるサポート体制により、加入者の引き戻しを図っていく。	ICT・医師確保担当	
				実績	2,719	3,104	3,056	2,992						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
2 健康やかに人が輝くまちづくり (22指標)	35	特定健康診査受診率	%	44.3	目標値	60.0	65.0	65.0	65.0	65.0	未達成	75.4	第2期特定健康診査等実施計画の2年目となる平成26年度は、従来からの眼底・心電図検査の希望者への実施に加え、新規で貧血・腎機能・尿酸検査を追加し、検査内容の充実を図った。検査内容の充実が、受診者の満足度を高めるとともに生活習慣病の予防や早期発見に有効であり今後も継続する。平成26年度の受診率（暫定）は、目標に到達しなかったものの平成25年度の確定受診率は低下せず横ばいであった。 今後も受診率の向上に向け、自己負担金分に係るスキップカードのポイントを付与する新たな事業の実施や国民健康保険の保険者として、被保険者に対し受診の必要性を訴え受診勧奨に努める。（平成26年度受診率は暫定値であり、最終確定は平成27年10月末となる。平成25年度の受診率は県内全体では5番目、14市中では1位となっている。なお、岩手県の平均は42.5%である。）	保健医療課
					実績	50.1	50.2	50.2	49.0					
	36	特定保健指導実施率	%	32.2	目標値	40.0	45.0	45.0	45.0	45.0	未達成	77.6	継続して指導を受ける対象者の固定化や健診を受診するものの指導を拒否する対象者が以前よりも増加している傾向が見られ、平成26年度実施率は暫定値で前年度対比 4.6ポイントの増加となっているが、確定値では減少する見込みである。指導を拒否する対象者は、多忙を理由とした就労世代に多く、土・日や夜間の面接機会を設定し積極的に呼び掛けたが、面接に結びつかなかったケースが多い。指導の内容は、指導評価システムを活用し、内容の評価・分析を進め、より一層効果的な指導となるようプログラムの充実を図った。 指導の対象の年代以前を対象とした若年者健診（基本健康診査）の受診者に対しても、指導及び情報提供の機会を設け、未然の重症化予防に努めた。 今後も実施率の向上に向け、過去の特定保健指導の終了者の改善状況に関する情報提供や健診通知、受診会場等の様々な機会を捉え、保健指導の重要性についての啓発に努める。（平成26年度実施率は暫定値であり、最終確定は平成27年10月末となる。平成25年度の実施率は県内の全体で8番目、14市中では3位となっている。なお岩手県の平均は16.7%である。）	保健医療課
					実績	25.9	42.1	30.3	34.9					
	37	健康づくりサポーターが普及啓発した市民の割合	%	57.0	目標値	58.0	59.0	60.0	60.0	60.0	達成	102.2	食生活改善については、脳卒中予防対策として、国立循環器病研究センターの「かろしおレシピ」を活用した減塩と野菜料理の普及を図った。 運動推進については、ロコモ体操・室内での輪投げ・仮設住宅入所者との交流グラウンドゴルフなど、参加者の年代に合った運動の普及を図った。（食生活改善講習会：2,160回 16,308人 運動普及：81回 1,357人）	保健医療課
					実績	59.9	63.2	60.9	61.3					
	38	朝食を食べる子どもの割合	%	91.0	目標値	92.0	93.0	95.0	95.0	95.0	概ね達成	99.8	児童生徒対象の食育講座を通して朝食の大切さや子どもでもできる簡単な料理の作り方を指導したが、25年度より1.3ポイント下がった。 引き続き、学校給食の栄養教諭と連携した意識啓発を行うとともに、食育講座の開催等により簡単に作れる朝食レシピの普及に努める。	総合食育推進課
					実績	95.6	93.3	96.1	94.8					
	39	3歳児のむし歯罹患率	%	34.7	目標値	33.0	33.0	32.0	30.0	30.0	未達成	86.5	平成26年度は、むし歯罹患率が昨年度より悪化し、目標値を 4.7ポイント超過した。 今後も乳幼児のむし歯予防のため、生後6か月時点から半年毎に乳幼児健診や各種相談の機会に合わせて、歯科保健指導や歯科衛生士による個別指導や1歳6か月児へのフッ素イオン塗布剤の配布などを行い積極的なむし歯予防に努める。 また、乳歯が生え揃う2歳以降にむし歯が急増する傾向にあることから今後は、2歳以降のむし歯対策を強化し個別の歯科保健指導をより充実させ、う歯率減少に向け遠野歯科医師会と連携・協議の上、新たな取組を進める。	保健医療課
					実績	30.4	30.7	30.5	34.7					
40	スポーツ施設利用者数	人	216,509	目標値	216,600	216,700	216,800	216,900	217,000	/	/	(運動公園（多目的運動公園広場）、陸上競技場の改修工事及び市民センター体育棟の大規模改修工事により、過年使用できない施設もあった。)	生涯学習スポーツ課	
				実績	215,070	193,801	181,163	-	-					
41	医師の確保数	人	2	目標値	1	-	1	-	1	/	/	/	ICT・医師確保担当	
				実績	0	1	1	-						
42	ボランティア登録団体数(累計)	団体	58	目標値	64	66	68	70	72	未達成	84.3	朗読や傾聴など多岐にわたるボランティア団体が活動しており、遠野市ボランティア連絡協議会が、そのとりまとめ役となっている。平成26年度は新規に1団体が登録。ボランティア活動の輪が広がることで、地域福祉の増進に寄与している。 団体数は、遠野市ボランティア連絡協議会登録団体数と未登録団体については社会福祉協議会が窓口となっているボランティア活動保険に加入している団体数の合計となる。 各年度2団体の増加を目標としているが、活動を終了したり、合併する団体もあることから目標に達していない。今後も、社会福祉協議会と連携しながら活動団体を支援して行く。	福祉課	
				実績	53	55	58	59						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
2 健康やかに人が輝くまちづくり (22指標)	43	ボランティア登録者数（累計）	人	3,043	目標値	3,100	3,120	3,140	3,160	3,180	未達成	52.3	平成26年度は新規に1団体が登録するも、全体的なボランティア数は、現状を維持する状況にとどまっている。 登録者数は、遠野市ボランティア連絡協議会に登録している各団体の会員数と未登録団体についてはボランティア活動保険に加入している団体の会員数の合計となる。地域においては、未登録、保険未加入であっても、自治会や近助（隣近所同士の助け合い）によるボランティアとして活動している方が多くいることが推測される。今後も社会福祉協議会と連携しながら、活動団体の協力のもと登録者の増加を図る。	福祉課
					実績	1,653	1,756	1,643	1,653					
	44	老人クラブ加入者数（累計）	人	3,176	目標値	3,170	3,170	3,180	3,190	3,200	未達成	86.3	定年退職後の再雇用や、健康状態により老人クラブの活動に参加できない方などにより加入者の減少傾向が続いている。引き続き、老人クラブが主体となって加入促進に努める。	生涯学習スポーツ課
					実績	3,093	3,038	2,971	2,753					
	45	シルバー人材センター会員登録者数（累計）	人	344	目標値	350	350	350	355	355	未達成	68.2	新入会員は前年度に比べ4人少ない22人の入会となったが、加齢による体力低下等のため退会者が24人あり、会員数が減少している。前年度は30人の減少であったが、継続して新規会員の勧誘等を行った結果、2人の減少となった。 また、定年後も再雇用により継続して就労することができるため、全国的に会員は減少傾向にあり、当市もその傾向にある。新規受託事業の拡大に向け情報提供を行っていく。	長寿課
					実績	314	274	244	242					
	46	一人暮らし老人世帯等の見守り回数	回 (見守対象世帯数)	7,807 (145)	目標値	7,600 (158)	7,900 (168)	8,200 (178)	8,500 (188)	8,800 (198)	概ね達成	96.3	市老人クラブ連合会に委託している「一人暮らし高齢者見守り支援事業」により1世帯に46回の見守り安否確認を実施した他、配食サービス利用者に対する配達時の見守りや声がけを5,850回実施した。元気な高齢者やボランティアによる活動も実施しており、今後ますます期待も高まる中、大きな社会資源となっている。 今後も引き続き活動を実施するとともに、民生児童委員や在宅介護支援センターと連携して、見守りが必要な世帯の把握に努め、対応をしていく。	長寿課
					実績	9,675	9,615	7,893	8,185					
	47	健康相談事業参加者数	人	3,742	目標値	2,000	2,000	2,100	2,100	2,200	達成	118.8	介護予防を目的に高齢者の交流事業などの場を活用した個別相談の実施や電話・来所などによる随時の健康相談を行い、健康の保持増進や不安の解消、介護家族等に対する指導・助言を行った。各種検診の結果による要指導者への個別相談や精密検査者への受診勧奨を行い、疾病の早期発見・早期受診に努めた。 健康福祉の里20周年事業の開催に合わせて、歯科医や歯科衛生士など専門職が幅広い年代へ健康相談を実施する機会を設け内容の充実も図った。	保健医療課
					実績	2,475	2,291	1,920	2,495					
48	元気楽らく高齢者体力アップ利用者数	人	1,196	目標値	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200	達成	151.7	二次予防事業対象者（要支援や要介護の状態になる可能性の高い高齢者）を対象に、介護予防のための効果的な筋力トレーニング及びバランス訓練を行う教室を開催した。継続参加者も増えている。 一次予防事業対象者（元気な一般高齢者）を対象として、セラバンドを用いた軽運動教室を、高齢者が気軽に参加しやすい公民館等で実施した。 参加者からは、教室参加の効果を実感している声が多数聞かれた。また、仲間づくりが図られ、参加者は楽しく参加している。	長寿課	
				実績	778	1,470	1,703	1,744						
49	訪問指導延べ人員	人	2,071	目標値	1,400	1,400	1,450	1,450	1,500	達成	126.4	介護予防、介護家族、高齢者支援へのコーディネート、生活習慣病予防に係る要指導者等に対し家庭訪問を行い、生活環境や家族状況などのケースの背景を把握することにより、個別性のある支援を図った。	保健医療課	
				実績	1,940	1,940	1,841	1,833						
50	健康教育参加者数	人	9,488	目標値	3,200	3,300	3,400	3,500	3,600	達成	128.7	市民健康講座の開催、自治会や老人クラブの集会、高齢者サロン等の様々な機会を活用し、介護予防、健康増進、疾病予防等に関する健康教育を実施した。 健康福祉の里20周年事業の開催に合わせて、幅広い年代へ介護予防や健康づくりに関する普及啓発を行なう機会を得ることができた。	保健医療課	
				実績	3,910	4,180	4,783	4,504						
51	生きがい活動支援通所事業利用回数	回	6,348	目標値	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	概ね達成	96.5	新規利用者が65人あったが、体調不良や要支援・要介護の認定を受ける等利用廃止となる者が47人あった。新規利用者の約半数が80歳以上であり、加齢により外出機会や交流機会が少なくなった高齢者にとって、貴重な活動や交流の場となっている。 今後も多くの高齢者が参加できるよう、各地区の在宅介護支援センター等を通して、対象者の把握に努め参加を呼び掛けていく。 H18実績6,618人 H19実績6,341人 H20実績6,643人 H21実績6,348人 H22実績5,846人	長寿課	
				実績	5,830	6,053	6,181	6,368						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課		
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度	
2 健やかに人が輝くまちづくり (22指標)	52	認知症サポーター(累計)	人	1,165	目標値	1,650	1,800	1,950	2,100	2,200	達成	107.7	老人クラブやボランティアグループ等を対象に養成講座を開催し、認知症についての正しい理解と「認知症の方を地域で支えていく」という意識の高揚が図られた。年々認知症への関心が高まっており、認知症を正しく理解することが支援の始まりにつながることから、今後も、各種団体等に対して継続した働き掛けを行いサポーターの養成につなげていく。	長寿課	
					実績	1,594	1,663	1,942	2,262						
	53	家族介護教室参加者数	人	276	目標値	270	280	290	300	300	達成	117.7	遠野市社会福祉協議会に事業を委託し開催。高齢者を介護している家族や近隣の援助者を対象とした教室を31回開催し、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識、技術の習得に繋がった。 今後も多くの介護者が参加できるように、周知方法や開催曜日、開催方法を調整・検討し、介護支援専門員等から協力を得ながら家族介護者に参加を呼び掛けている。	長寿課	
						実績	175	266	235	353					
	54	家族介護者交流事業参加者数	人	39	目標値	80	85	85	85	90	達成	114.1	遠野市社会福祉協議会に事業を委託し開催。高齢者を介護している家族を対象とした交流会を宿泊型2回、日帰り型1回開催し延べ97人が参加した。介護者を一時的に介護から解放することにより、心身のリフレッシュや相互の交流につながった。 今後も多くの介護者が参加できるように、周知方法や開催曜日、開催方法を調整・検討し、介護支援専門員等から協力を得ながら家族介護者に参加を呼び掛けている。	長寿課	
						実績	70	70	99	97					
55	障がい者グループホーム数(累計)	箇所	5	目標値	7	8	9	10	10	未達成	60.0	6施設(定員32人)を24人(うち市内14人)が利用している。 グループホーム数の増とはならなかったが、今後も補助制度に関する情報収集を行い、また、運営する団体等との連携を密にするとともに、利用者意向を確認しながら地域移行に向けた体制の整備を図る必要がある。	福祉課		
					実績	6	6	6	6						
56	障がい者の一般就労者数(累計)	人	40	目標値	42	44	46	48	50	達成	127.1	遠野市地域自立支援協議会就労支援部会内で対象者を把握し、ハローワーク、岩手中部障がい者就業・生活支援センター及び支援学校等構成員の情報共有と個々への支援を行い、新たに7人の方について一般就労につなげることができた。 今後も就労者への職場定着支援を含め、新たな就労につなげられるよう障がい者雇用制度の周知や就労支援を行う。	福祉課		
					実績	50	50	54	61						
57	合計特殊出生率	—	1.86	目標値	1.83	1.83	1.83	1.80	1.80	達成	105.6	わらすっこプランによる事業の推進や医療費給付の中学生への拡大など、関係課と連携した子育てにやさしい環境づくりを進めたが、合計特殊出生率は前年度に比較して0.01ポイント減少した。(合計特殊出生率は県内14市中1位) 今後も「子育てするなら遠野」をキャッチフレーズとしたわらすっこ関連事業をさらに発展させ、平成27年度まで1.80台を維持することはもとより、2.08を目指して施策を展開していく。 ※合計特殊出生率の数値は、岩手県が発表する「保健福祉年報」を適用しており、数値発表までに2年弱を要するため、左記実績値は平成25年度の数値である。	子育て総合支援課		
					実績	1.85	1.91	1.90	1.90						
58	児童館・児童クラブ年間利用延べ人数	人	120,761	目標値	135,250	135,500	135,750	136,000	136,250	達成	100.7	全体の延べ利用者数は前年度と比較して、641人(前年度比0.5%減)の減となったが、平成26年度の目標数を上回った。 児童数が減少しているなかで、目標値を上回ることができたのは、児童館として地域の文化、行事等について体験する地域交流事業や三世代交流事業など、特色ある活動に積極的に取り組んだ成果である。 今後も、児童の健全育成の場として活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営を進める。	子育て総合支援課		
					実績	132,554	135,796	137,552	136,911						
3 活力を創意で築くまちづくり (43指標)	59	野菜契約栽培等の出荷割合	%	25	目標値	30	35	40	45	50	概ね達成	90.7	野菜販売実績の内、契約栽培(キャベツ、きゅうり、馬鈴薯、かぼちゃ、とうもろこし等)として取り扱いはある割合。 降雪被害により、苗の植え直し等が発生し、果菜類の苗の生育は遅れ気味となったが、後半の好天に恵まれ、昨年並みの出荷ができた。 所得がみえる契約型栽培を推進し、系統出荷における生産者及び作付面積の確保を推進する。 なお、新規就農者や1ターン者、退職者など新たな農業への取組を希望する方々に対しても、安定した収入が見込める契約品目として有力であることから、関係機関と協力し推進していく。	農家支援室	
					実績	30.5	32.0	32.8	40.8						
60	限定純情米等(減農薬栽培米等)の出荷割合	%	30	目標値	30	32	34	36	38	達成	154.4	化学合成農薬の使用を低減し、慣行栽培と差別化を図った「あきたこまち」の栽培を行なった米の出荷割合である。 減農薬栽培米は、食の安心・安全嗜好から市場の評価が高く、また、生産者にとって販売面でも有利であることから、農家への作付け推進を図った結果、取組が定着化し、出荷割合の増加につながっている。 現在は、他の品種にも対象が拡大されていることから、減農薬栽培等、消費者が求める米の栽培方法の普及推進を図って行く。	農業振興課		
					実績	30.0	53.9	52.8	55.6						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (43指標)	61	重点野菜出荷額	百万円	236	目標値	300	350	400	450	500	未達成	40.8	重点品目として位置付けるレタス、ほうれんそう、ピーマン、きゅうり、ニラ、アスパラガスの出荷額。 5月の降霜が、露地野菜に大きい被害を及ぼした。特に春作レタスについては、8割強が出荷できなくなり、出荷量が大きく減少した。定植直後のピーマン、きゅうりについては、植え直しを余儀なくされた。レタスについては、販売金額が前年比68%と減収、ニラについては、平成26年度から県内の飲食店での契約取引を開始し、販売金額が前年比110%と増収となった。アスパラガスについては、新規に作付された面積も50aを超える面積となり、前年比130%増収となった。ピーマンについては、選果部門を花巻市へ移行し生産者の作業が軽減されたことにより、安定した出荷を確保することができた。 重点品目に関しては、アスト事業を有効活用しながら、関係機関と連携し、きめ細やかな支援を実施し、栽培面積の確保と安定した出荷を目指し、産地としての支援を継続する。	農家支援室
	62	重点花き出荷額（トルコギキョウ、りんどう、小菊）	百万円	53	目標値	53	54	55	56	57	達成	115.4	重点花きとして位置付けられているトルコギキョウ、りんどう、小菊等の販売額。 JA系統と花き研究グループ及び産直の販売額の値である。 特に、トルコギキョウについては、品質が良く、首都圏市場から評価が高く、安定した需要があった。 市内産直での販売も増えており、また、市外からの需要も多くなってきており、品質の安定と栽培面積の拡大推進に向けて、アスト事業を活用し生産拡大に向け、誘導していきたい。	農家支援室
	63	特産品出荷額（たらの芽）	百万円	11	目標値	13	15	17	19	21	未達成	21.6	冬期間の所得確保対策として、平成17年度から普及している促成栽培で出荷している作物である。個人での取組が多いが、組合として取り組んでいる団体も2つある。栽培年数が10年以上経過したタラノキが多く見受けられるようになってきており、これに伴いカミキリムシの被害も多発発生し、欠株状態となっている圃場が多くなってきている。アスト事業で取り入れる微生物農薬導入事業を活用しながら取り組んでできているが、被害木の増加に歯止めがかからない状況。株の更新や害虫駆除に向けた周知を徹底していく必要がある。	農家支援室
	64	特産品出荷額（ブルーベリー）	百万円	12	目標値	15	20	25	30	35	未達成	39.0	ブルーベリーの生食用及び加工用の出荷額。 栽培面積は、県内でもトップクラスであり、生食販売の他、加工品（ジュース、ジャム、菓子）として定着してきている。全国的なブームは収まりつつあるが、健康食品としての位置付けが定着しつつある。 栽培者の大半は、無農薬栽培としての取組であり、害虫による被害はあるものの年々樹も大きく成長し収量もアップしてきているが気候に大きく左右される。 生食用は産直の他、JAを経由し市内企業への単価契約に基づき出荷されている他、加工用は、宮守町の農産加工施設への委託や県内の加工施設へ委託している。 様々な品種が導入されて来ているが、気候に適し収量の期待できる品種を選抜するよう普及センター、JAと連携し誘導していきたい。	農家支援室
	65	特産品出荷額（菌床しいたけ）	百万円	190	目標値	280	285	290	295	300	未達成	69.4	菌床しいたけの出荷額。 原木しいたけが出荷制限されている中、菌床しいたけについても風評被害により、厳しい状況が続いている。平成26年度は、燃油の高騰により冬期間のしいたけの原価割れを越えすような状況が発生したため、出荷量が大幅に低下してしまった。菌床しいたけは、通年出荷できる特産品ではあるが、資材費や販売単価に出荷量が大きく左右されることから、菌床の安定生産体制及び低コスト栽培について対策が必要である。	農家支援室
	66	特産林産物生産量（わさび）	t	6	目標値	6	6	6	6	6	達成	105.0	一般社団法人遠野わさび公社については、進化まちづくり検証委員会の報告に基づき、苗の生産・供給のほか、平成23年度からわさびの定期出荷の取組を継続したことにより、わさび安定的出荷体制が確立されつつある。 また、生産者で組織する宮守わさび生産者協議会（現遠野わさび生産者協議会）では、目揃い会や市場関係者を講師に招いての研修会を開催するなど、わさびの品質向上に向けた取組や全国わさび生産者大会に参加するなど、意欲的にわさび生産が取り組まれている。 平成29年には、全国わさび生産者大会岩手大会が遠野市で開催されるため、地域特産品として遠野宮守わさびのブランド力向上を図る必要がある。 日本食ブームで高まるわさび需要に応えていくためにも、今後も引き続き、わさびの生産力を高める取組を展開する必要がある。	農家支援室
	67	特産林産物生産量（原木しいたけ）	t	8	目標値	10	12	14	15	16	未達成	0.0	平成24年5月、遠野産原木しいたけから食品に係る放射性物質濃度の基準値100ベクレル/kgを超えたものが検出されたため、流通が規制されている。引き続き、県と協力し流通規制解除に取り組んでいく。 なお、平成27年4月10日付けで市内生産者のうち9名が出荷制限一部解除となった。	林業振興課

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (43指標)	68	耕作放棄地再生面積	ha	—	目標値	30	30	30	20	10	未達成	58.5	解消（農業再開）した面積は、農地利用集積アドバイザーの活動による不作付け地の解消2件、0.6haを含む11.7haであったが、新たな耕作放棄地を1.5ha確認し、結果として10.2ha減少した。今年度は耕作放棄地が減少したが、引き続き関係機関、農地利用集積アドバイザー等と連携を密にした、調査から解消の着実な取組の実施と農地中間管理事業の活用による耕作放棄地発生の防止と速やかな解消を図る。	農業振興課
					実績	23.0	72.4	2.0	11.7					
	69	農産物直売所売上高	百万円	508	目標値	515	575	585	595	600	未達成	84.1	市内農産物直売所の売上額及び入込数が共に減少した。 (売上額 H25 548.5百万円 → H26 500.1百万円) (入込数 H25 68.2万人 → H26 63.0万人) 震災後、放射性物質の影響により、主力商品である山菜、きのこ類の販売規制が売上額の減少に大きな影響を与えている。また、震災復興で一時的に増加した入込数も落ち着きをみせたことにより、農産物直売所の売上額及び入込数共に、前年度を下回り、厳しい販売環境となった。今後は、各農産物直売所の購買客にとって魅力ある店舗運営が図られるよう、遠野市産直連絡協議会と連携を図りながら、店舗展開や情報発信の見直しを図り、売上高の増加を目指していく。	農家支援室
					実績	557.0	552.0	548.5	500.1					
	70	認定農業者数(累計)	経営体	424	目標値	415	415	415	415	415	未達成	87.5	認定期間は5年間であり、平成26年当該年度で更新を迎えた認定農業者は77経営体で、うち再認定を受けた認定農業者は46経営体である。平成26年度中に、新規に認定農業者となった経営体は15経営体、高齢などの要因により辞退した経営体は31経営体であった。（平成25年度末認定農業者379経営体+新規認定農業者15経営体-辞退者31経営体=363経営体） 認定農業者は、将来、地域における担い手として位置付けられることから農業振興課に配置されている担い手支援アドバイザーと連携して、個別訪問等による新規認定農業者の確保と育成を図っていく。	農業振興課
					実績	422	409	379	363					
	71	家族経営協定件数(累計)	組	149	目標値	182	195	208	221	234	達成	107.7	農業を魅力ある産業とするために、経営主が家族と経営面、生活面について話し合い、家族一人ひとりの役割と責任を確認できるように取り決めた事項を文書化する「家族経営協定」の締結について、家族経営協定アドバイザーを主体に、農業委員一人あたり一家族を協定に導くことを目標に取り組んだ。	農業委員会
					実績	173	209	232	238					
	72	内水面漁業出荷量(ヤマメほか)	t	37	目標値	36	36	36	36	36	未達成	69.2	前年度とほぼ横ばいの出荷量、生産額であった。特にメイワナの販売が前年より伸びた。ヤマメ、ニジマスと銀鮭養殖事業については、計画どおりの生産を行うことができた。 高齢化に伴う組合員の減少や餌料の高騰など組合の経営は不安定な状況にあるが、今後は組織体制の見直しについて協議を進め、内水面養漁業の安定生産に向けた取組の強化が必要である。	農家支援室
					実績	30.6	32.9	25.4	24.9					
73	農道改良率	%	58.7	目標値	58.8	59.1	59.1	59.1	59.1	概ね達成	99.3	全延長77,881m、改良延長45,691mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、農道改良工事を促進する。	建設課	
				実績	58.7	58.7	58.7	58.7						
74	農道舗装率	%	49.2	目標値	48.9	48.7	48.7	48.7	48.7	達成	101.0	全延長77,881m、舗装延長38,341mを整備した。今後も良好な維持管理に努め、農道舗装工事を促進する。	建設課	
				実績	49.2	49.2	49.2	49.2						
75	和牛子牛の出荷頭数	頭	2,066	目標値	2,000	2,000	2,000	2,100	2,400	未達成	84.8	和牛子牛相場取引価格は、一昨年からの高値が継続しているが、依然、当市が抱える高齢化による飼養農家数減少に歯止めがかからない状態である。 また、放射性物質被害による牧草地及び放牧場の利用自粛により、受胎率の低下、平均分娩間隔の長期化が発生し、市場取引頭数の減少が発生している。 今年度までに市内の利用自粛地域の除染作業が完了したことから、平成28年度までには、これまでの営農形態へ改善される等を勘案し、受胎率の安定化と平均分娩間隔の改善を促していく。 今後の取組として、新規就農者支援を中心とした生産体制及び基盤整備とキャトルセンターを核とした人口減少に即した生産体制整備のための粗飼料生産基盤の効率化と大規模経営体の育成を促していく。	畜産振興課	
				実績	1,942	1,978	1,850	1,780						
76	馬生産頭数	頭	28	目標値	28	28	30	30	30	達成	130.0	馬の里の越冬放牧施設の利用を促進し、乗用馬生産者の負担する飼養管理費等の低コスト化を図り、加えて乗用馬生産者の意欲喚起のため、引き続き遠野産馬生産基盤整備事業の利用を促進したことが成果につながった。 また、平成27年度に向けて、更なる乗用馬資源の確保及び増殖を図るため、乗用馬子馬生産奨励金交付制度新設の検討を加えた。	馬事振興課	
				実績	24	25	30	39						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (43指標)	77	馬市場取引金額	千円	20,010	目標値	21,000	21,500	22,000	23,000	23,500	概ね達成	93.6	購買者側の意向を踏まえ、平日開催として2回目の開催となった第42回遠野市乗用馬市場。最高価格は、昨年度に引き続き300万円超えの321万円を記録した。売却総合計額は、高価格での主取りもあり2,152万円と昨年度を下回ったが、1頭当たりの平均価格では上回り、遠野産馬のブランド化が定着しつつある。そして、リーフレットやホームページを活用し、全国へ向けた情報発信並びに事前に購買者訪問し宣伝に努めた取り組みが成果につながった。今後も、市場上場頭数の増及び質の向上を図り指標達成に努める。	馬事振興課
					実績	11,570	16,270	23,560	21,520					
	78	森林整備面積(年間整備面積) *H21までに間伐等森林整備を推進した結果、間伐対象が減少したことから、平成24年度に目標値を見直した。	ha	644	目標値	650	430	430	430	430	達成	114.9	国の森林整備事業を活用し間伐等森林整備を推進した。また、民有林においては、県民税事業を活用して間伐が行われた。 森林整備事業実施面積 493.91ha【市有林 32.42ha(間伐、下刈、忌避剤、造林) + 県有林 38.55ha(間伐) + 民有林 62.49ha(県民税事業間伐) + 民有林 360.45ha(除伐、間伐、枝打ち、下刈、造林)】 うち、間伐面積 183.04ha【市有林 15.69ha、県有林 38.55ha、民有林 62.49ha(いわて環境の森整備事業)、民有林 66.31ha】	林業振興課
					実績	467.73	441.26	564.9	493.91					
	79	林内道路密度	m/ha	4.7	目標値	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	達成	100.0	全延長183,917m、森林面積38,925haを整備した。県営事業で実施中の林道平野原線の工事を円滑に推進する。	建設課
					実績	4.7	4.7	4.7	4.7					
	80	民有林再造林面積	ha	34	目標値	44	60	70	80	90	未達成	53.4	伐採後の再造林を推進するため、平成27年度までに90haの造林を目指すことで事業展開を図る。具体的には、国・県の森林整備事業補助金が造林作業も対象となったことに伴い、市においても平成24年度から嵩上げ補助を実施している。造林に係る経費の約90%の補助が受けられることを森林所有者にアピールし、再造林面積増を図る。	林業振興課
					実績	36.89	31.40	56.10	42.70					
81	木工団地事業体の売上高	億円	11	目標値	12	13	14	15	15	達成	113.3	東日本大震災で被害を受けた沿岸市町村からの復興公営住宅、個人住宅等の受注は、土地区画造成の進捗状況によりあまり進まなかった。各事業体において経営改善・営業努力の取組んだが、ほとんどの事業体で売上高が前年を下回った。 今後、沿岸市町村の復興公営住宅、個人住宅等の受注、各事業体の営業努力により売上高の増加を図る。	林業振興課	
				実績	20	19	21	17						
82	公共施設の木造化率	%	31	目標値	40	42	43	44	45	概ね達成	95.5	市内小中学校校舎19校のうち、木造8校の割合による。 今後は、新庁舎建築への木材利用など、遠野市公共建築物木材利用促進基本方針(平成25年2月策定)に基づき公共施設の木造化を推進する。	林業振興課	
				実績	35	40	40	42						
83	企業の調査研究費用等支援数(累計)	件	—	目標値	2	4	6	8	10	未達成	87.5	平成25年度まで実施したビジネスフェア出展支援事業補助金を廃止し、平成26年度からは遠野ものづくりネットワーク補助金を新たに制定した。これにより、市内のものづくり産業に携わる企業間連携を促進するとともに、新商品開発、販路開拓、技術向上、人材育成等の支援を行うこととした。 平成26年度の企業の調査研究への支援としては、ものづくり産業における企業活動においてエネルギーの確保とコストは重要な課題であるため、遠野ものづくりネットワークが主催した再生エネルギー等電力状況視察を実績として捉えた。 今後も、市内ものづくり企業が抱える共通課題に関しても、調査研究を支援していく必要がある。	商工観光課 雇用定住環境整備室	
				実績	3	5	6	7						
84	産学官民連携による共同研究事業数	件	1	目標値	1	1	1	1	1	達成	100.0	遠野緑峰高等学校、遠野市ホップ農業協同組合、遠野市、市民有志による遠野ホップ和紙を育てる会など、産学官民連携により、「廃棄されるホップの主茎を活用した和紙の研究」及びその普及活動が展開された。 本研究成果は、高校生環境活動発表全国大会で環境大臣賞受賞など国内で高い評価を得たばかりでなく、地域の高校生の研究シーズは、市民有志の事業意欲に火を点し、更なる事業展開が期待できる研究活動となった。 こうした身近課題から産学官民連携による共同研究に波及した事例をモデルに、今後は他の事業活動における課題解決に向けて、地域の知の拠点である大学等研究機関との共同研究を一層促進する必要がある。	商工観光課 農家支援室	
				実績	1	0	0	1						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (43指標)	85	農商工連携（六次産業化）支援数	件	—	目標値	14	14	14	14	14	達成	164.3	平成26年4月に遠野市六次産業推進本部を設置し、産業振興部と農林畜産部の組織の枠を超え、市内の事業者による六次産業化、農商工連携等の取り組みを推進した。 平成26年度は、遠野牛カレー、どぶろく飴、どぶきゅうーなどの商品化や、道の駅遠野風の丘のテナント同士が連携し合ったコラボレーション商品の開発、既存商品のリニューアルなど、六次産業推進本部では23件の支援を行った。 また、遠野商工会でも六次産業関連の商品開発や販路拡大を19件支援するなど、地域資源を活用した挑戦的な事業が市内で展開され始めている。 こうした新たな挑戦的な取り組みを支援するためには、県や市、商工会等支援機関が連携し、六次産業化・地産地消推進構想を策定し、戦略的な事業推進を展開する必要がある。	農家支援室 商工観光課
					実績	9	12	9	23					
	86	企業立地件数（累計）	件	10	目標値	11	12	13	14	15	達成	142.9	首都圏の企業を中心に企業情勢や取引先の情報把握に努め、当市に進出する意向のある企業との折衝を継続した。 平成26年度に1,000万円以上の設備投資及び4人以上の雇用創出が図られ、遠野市事業所設置奨励条例に基づく事業所設置奨励金を交付した企業は、1社であった。 なお、平成27年3月に、遠野東工業団地への立地協定を締結することができたことから、同団地の造成等の整備を進める必要がある。	雇用定住環境整備室 商工観光課
					実績	3 (17)	1 (18)	1 (19)	1 (20)					
	87	中心市街地の観光施設入り込み数	人	51,897	目標値	97,800	98,900	100,000	101,000	102,000	未達成	64.1	遠野の歴史や文化を活かしたまちなか観光振興を図るため、中心市街地活性化基本計画に基づきリニューアルした「博物館」、「とおの物語の館」、「城下町資料館」の入館者数を指標とした。 東日本大震災以降、相対的な観光客が減少しており、特に中心市街地施設の観光客数が落ち込んでいることから、リニューアルした施設間の回遊性を高めるイベントと市民協働の取組みを行うなど、市民や観光客が中心市街地を訪れる機会を創出する。	商工観光課
					実績	39,846	40,666	47,038	64,726					
	88	中心市街地の空き店舗数（累計）	店	16	目標値	15	14	13	12	11	達成	150.0	市街地の空き店舗については「店舗と居住」が一緒である場合が多く、店舗については経営していないが、所有者が道路側に面していない部分に居住しているケースが見られる。 空き店舗にはなっているが、所有者が他者に住宅の一部を貸すことについて、難色を示す場合がある。 貸し店舗として活用する場合、家屋の改修について助成制度の検討が必要である。	商工観光課
					実績	7	9	9	8					
	89	中心市街地活性化センター（とびあ）の入居店舗数	店	33	目標値	34	34	35	35	36	未達成	85.7	平成26年度は、入居店舗の都合により2店が退店した。空きスペースについては、入居希望者と個別に交渉を行っている。市庁舎が隣接地に建設されることから、中心市街地の中核商業施設として魅力のある施設づくりに努める。	商工観光課
					実績	32	32	32	30					
90	人材育成研修実施回数	回	2	目標値	2	2	2	2	2	達成	400.0	新入社員32名を対象とした基本スキル等のフォローアップ研修を行った。また、若手・中堅職員20名を対象に、求められる役割や認識、必須となるスキルの習得を図り、将来のリーダー候補者を育成すべく研修を行った。 不足する介護人材の資格取得研修を開催し、13名が資格を取得した。 県、市、商工会が連携し、人材確保のための高校生向けキャリア教育と、企業内人材育成のための講座を実施した。 高校生向けとしては、市内2校の1年生全員202名を対象に企業見学を実施したほか、2年生の希望者30名のインターンシップを実施した。 企業の在職者向け人材育成講座では、管理・監督者研修、ISO9000s養成セミナー、原価入門講座の計3回実施した。	雇用定住環境整備室 商工観光課	
				実績	2	3	5	8						
91	高校生就職希望者就職率	%	95.6	目標値	100	100	100	100	100	達成	100.0	就職希望者79人全員の就職が確定した。	商工観光課	
				実績	100	97.5	100	100						
92	観光客入り込み数	万人	60	目標値	62	63	64	65	66	未達成	80.0	東日本大震災以降大幅に減少した観光施設の入込人数が戻りつつあるが、震災前の水準までは到達していない。宿泊施設については震災直後よりも減少傾向にある。引き続き、来訪者の動向・ニーズを踏まえ、観光関係機関・団体が一体となって観光振興策を協議し、PRや受入環境整備に取り組み入り込み増を目指す。 【主な施設】 遠野ふるさと村 3.4万人(0.3割減)、伝承園 4.5万人(0.4割減)、遠野市立博物館 2万人(0.5割減)、たかむろ水光園 7.1万人(0.1割増)、宿泊施設 8.6万人(1割減)	商工観光課	
				実績	61	54	51	52						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
3 活力を創意で築くまちづくり (43指標)	93	道の駅利用者を含む観光客入り込み数	万人	198	目標値	200	202	202	203	204	概ね達成	90.6	東日本大震災以降大幅に減少した観光施設の入込人数が戻りつつあるが、震災前の水準までは到達していない。宿泊施設については震災直後よりも減少傾向にある。引き続き、来訪者の動向・ニーズを踏まえ、観光関係機関・団体が一体となって観光振興策を協議し、PRや受入環境整備に取り組み入り込み増を目指す。 【主な施設】 道の駅風の丘 99.3万人（0.1割増）、道の駅みやもり 32.1万人（0.7割増）、観光施設 44万人（1.4割減）、宿泊施設 8.6万人（1割減）	商工観光課
					実績	219	193	180	184					
	94	お出迎え隊の延べ参加者数	人	350	目標値	370	380	390	400	410	達成	407.3	4月から11月まで「SL銀河」運転に合わせ、遠野駅周辺及び宮守駅においてお出迎えを実施した。遠野駅では、毎運転時お出迎えとお見送り、7月から8月には市内保育園児で編成した「座敷わらし隊」も加わり、乗降客へ座敷わらし手形を配布した。遠野駅周辺では、郷土芸能披露及び語り部による昔話披露を行った。宮守駅では、カントリーダンスと着ぐるみでお出迎えを行った。待にも「座敷わらし隊」によるお出迎えは、乗降客に好評であった。 指標策定時には金石線SL定期運転は計画されておらず、SL運転に際してお出迎えに取り組んだことにより、目標値に対し実績が増加したものである。また、平成24年度の増はいわてデスティネーションキャンペーン等の実施に伴う、お出迎え取組み結果による増となっている。	商工観光課
					実績	20	1,149	120	1,629					
	95	宿泊客数	人	70,840	目標値	71,800	72,800	73,800	74,800	75,800	達成	114.9	目標を上回る入込となったが、前半まで被災地から利便性の高い当市を拠点とした復興支援関連の宿泊客が含まれており、純粋な観光客の入込みに至っていない。引き続き、来訪者の細分化した把握に努めるとともに、来訪者の動向・ニーズを踏まえ、観光関係機関・団体が一体となって観光振興策を協議し、PRや受入環境整備に取り組み入り込み増を目指す。 【種類別】 ホテル 3.8万人（1.2割減）、旅館 2万人（増減無）、民宿 1.4万人（1.8割減）、その他宿泊施設 1.4万人（1.2割減）	商工観光課
					実績	165,226	111,601	95,684	85,960					
	96	農家民泊数（累計）	件	113	目標値	115	115	120	120	120	達成	117.5	教育旅行や企業・大学研修などの滞在型ツーリズムの民泊需要が増え、農家民泊数の増加にもつながった。	連携交流課
					実績	123	129	135	141					
	97	定住者世帯数（18年度以降の累計）	世帯	21	目標値	30	35	40	45	50	達成	135.6	平成26年度の定住者は8世帯16人。依然、空き家の確保が課題であり、リフォーム事業助成金の利用促進及び市内不動産業者・区長会と連携し物件確保の上、更なる定住促進を図る。	連携交流課
					実績	32	43	53	61					
98	ふるさと市民の人口（累計）	人	639	目標値	1,000	1,200	1,400	1,600	1,800	達成	133.5	友好都市・愛知県大府市を中心とした支援の継続などから加入増加につながり、延べ2,000人を超え、特に、中京地区本部においては、延べ600人達成セレモニーを挙行することができた。 また、遠野郷人会や企業研修等で来遠した方々への加入依頼を徹底したことにより、年間308人の加入を達成した。	連携交流課	
				実績	1,182	1,488	1,828	2,136						
99	地域間交流事業参加者人口	人	1,143	目標値	1,100	1,050	1,100	1,200	1,100	達成	252.9	大府市民ツアーの受入れや菊池市・西米良村との住民相互交流を行い、友好都市との交流を深めた。また、むさしの青空市・大府市産業文化まつり・福崎秋まつりに出店を行い、遠野市の特産品を販売しPRすることができた。さらに、「平成・南部藩」交流事業は、地域づくり成果報告会などの実施により、構成市町との交流と相互理解を深めることができた。そして、みらい創りカレッジを拠点とした企業や大学の研修の受入れを行うことにより、交流人口の拡大につながった。	連携交流課	
				実績	1,436	1,916	2,537	3,035						
100	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	目標値	19	14	19	14	19	未達成	64.3	アメリカ・チャタヌーガ市へ中学生の海外派遣を実施（中学生9名）。従来、高校生を対象としたニュージージーランド・クライストチャーチ市への派遣は、平成24年度以降震災の影響により中断となっている。同市や市内高校の動向を踏まえ今後の検討を行う。	生涯学習スポーツ課	
				実績	9	9	9	9						
101	姉妹都市への市民派遣数	人	19	目標値	0	15	0	50	0	達成	102.0	姉妹都市締結30周年記念としてサレルノ訪問を実施。50名の目標に対し51名が参加。姉妹都市の交流と今後の絆を深めることができた。	生涯学習スポーツ課	
				実績	16	0	0	51						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (24指標)	102	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53.2	目標値	53.3	53.3	53.4	53.4	53.5	達成	100.7	全体としては、目標を達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内11校において、2・3・4年生では10校、5年生では11校、6年生では8校が全国平均を上回っている状況である。各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。 ※小学校2～5年生の国語、算数、小学校6年生の国語、社会、算数、理科が対象。	学校教育課
					実績	52.5	52.4	53.4	53.8					
	103	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	50.3	目標値	50.4	50.5	50.6	50.7	50.8	概ね達成	95.5	全体としては、概ね目標を達成している状況である。学年ごとの結果を見ると、市内3校において、全国平均を上回っているのは、1年生で2校という状況である。各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。 ※中学校1年生の国語、社会、数学、理科、中学校2・3年生の国語、社会、数学、理科、英語が対象。	学校教育課
					実績	49.1	48.5	47.7	48.4					
	104	学習定着度状況調査（小学校）	県平均を上回る点差	1.4	目標値	(+1.6)	(+1.7)	(+1.8)	(+1.9)	(+2.0)	概ね達成	97.1	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は69.4点である。目標値は、県平均を1.9点上回る71.3点である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。算数が県の平均を上回っている。国語、社会、理科の3教科も県と比較した達成状況は97%以上である。各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでおり、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。 ※カッコ内の数値は県平均との差。 ※平成26年度調査は、小学校5年生の国語、社会、算数、理科が対象。	学校教育課
					実績	(+2.1)	(-0.6)	(+1.7)	(-0.2)					
	105	学習定着度状況調査（中学校）	県平均を上回る点差	0.0	目標値	(+0.2)	(+0.4)	(+0.6)	(+0.8)	(+1.0)	概ね達成	96.1	岩手県学習定着度状況調査の県平均点は56.3点である。目標値は、県平均を0.8点上回る57.1点である。全体としては、目標を概ね達成している状況である。2年生の国語と理科は県の平均を上回っている。数学、英語は県と比較した達成状況は97%以上である。各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでおり、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。 ※カッコ内の数値は県平均との差。 ※平成26年度調査は、中学校1年生の国語、数学、中学校2年生の国語、社会、数学、理科、英語が対象。	学校教育課
					実績	(-2.7)	(-3.0)	(-3.3)	(-1.4)					
	106	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	63.0	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	達成	100.5	年間を通して、地産地消を意識した給食メニューの工夫を図るとともに、年3回の「遠野まるごと給食」の実施を継続するなど、産直組合、食育関係団体と連携しながら遠野産食材の使用に努めた。また、Y・Y・Y推進女性の会提供の「遠野っ子に食べさせたい給食メニュー」を活用するなど、地産地消メニューを積極的に提供した。	学校給食センター
					実績	65.3	69.5	67.6	65.3					
	107	市民センター施設の利用件数（スポーツ施設除く）	件	4,229	目標値	4,050	4,050	4,100	4,150	4,200	達成	112.2	会議や生涯学習などの個人・団体の活動拠点として、安定した利用率となっている。市内利用者より市外の利用者が増えつつあり、今後も幅広い利用が見込まれるため、施設運営の推進を継続していく必要がある。	市民協働課
実績					4,859	4,662	4,714	4,657						
108	市民センター施設の利用者数（スポーツ施設除く）	人	171,567	目標値	173,300	175,000	176,700	178,500	180,200	達成	104.2	ホール利用回数が増えたことにより、目標を達成した。今後も生涯学習の活動やホール運営の充実化を図り、より良い施設運営を推進する。	市民協働課	
				実績	162,890	153,731	161,655	186,011						
109	全講座における継続的な学習機会の割合	%	40.9	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	概ね達成	92.5	多様な市民ニーズに対応し、各種講座を実施した。新しい講座を試行的に実施したことにより継続性は減少したが、好評だったものについては来年度継続講座として展開したい。	生涯学習スポーツ課	
				実績	41.1	38.6	40.0	37.0						
110	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,682	目標値	4,730	4,760	4,790	4,820	4,850	達成	101.9	生涯学習講座等の業務を委託し、民間活力を生かし様々な講座を開催した。好評な講座は回数を増やし延べ受講者数の増につながった。地区センターにおいても、高齢者大学等を開催し、生涯学習の普及を行った。	生涯学習スポーツ課	
				実績	5,062	4,513	4,535	4,911						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (24指標)	111	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	750	目標値	900	900	950	950	1,000	達成	164.0	各地域、小中学校等の課題に対応した講座を企画し、児童・保護者・教職員等が参加した。情報機器に関する講演やメディアと子どもの関係、子育てや生活習慣のあり方、命についてなど多岐にわたる講座を通して、児童・生徒の意識を高めるとともに、保護者等の家庭教育力の向上を図ることができた。	生涯学習スポーツ課
					実績	1,214	1,098	1,031	1,558					
	112	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	12	目標値	12	12	13	13	14	達成	115.4	大ホール3回、中ホール3回、みやもりホール4回、その他会場5回それぞれ開催した。	生涯学習スポーツ課
					実績	11	15	16	15					
	113	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	2,099	目標値	1,890	1,900	1,940	1,950	1,980	概ね達成	90.8	体育館改修により市民芸術祭の総合展示会の規模を縮小したことによる減少である。平成27年度は大ホール改修があることから、みやもりホール、交流ホール等他の施設を活用させ市民参加の向上につながる。	生涯学習スポーツ課
					実績	2,027	2,293	2,099	1,771					
	114	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	10,414	目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	達成	111.9	遠野物語ファンタジー40周年記念公演や狂言風オペラ公演の開催等により大幅な増となった。	生涯学習スポーツ課
					実績	7,508	9,693	8,880	9,792					
	115	博物館入館者数	人	22,470 (20年度)	目標値	35,000	36,700	38,500	40,500	42,500	未達成	48.4	前年比8%減少となった。夏季特別展開催期間中は前年比2割増であったが、その他の期間の入館者を伸ばすことができなかった。今後は特別展や講座・教室等の開催に力を入れ、市外のみならず市内の需要を喚起できるように努める。	文化課
					実績	22,605	28,014	21,424	19,613					
	116	博物館講座等の受講者数	人	815	目標値	850	870	880	900	920	達成	104.9	市内小中学校と連携し、博物館教室等教育普及事業を行った。展示解説だけでなく、体験活動を重視した出前授業など、学校側の要望を聞きながら事業を実施したことが効果的であった。	文化課
					実績	780	909	913	944					
117	図書館の利用者数	人	18,089	目標値	19,100	19,300	19,500	19,700	19,900	未達成	86.3	博物館と連携した企画や図書館内資料を活用した展示等を実施し図書館利用に努めたが、目標を達成できなかった。今後は、新刊図書も含め蔵書の充実を図るとともに、利用者のリクエストにも応じながら、利用しやすい環境づくりに努める。	文化課	
				実績	20,640	20,638	19,257	17,008						
118	市民への図書貸出冊数 *近年の読書傾向や児童数の減少等から、平成24年度に目標値を見直した。	冊	65,004	目標値	102,000	80,600	81,000	81,300	81,600	未達成	81.1	利用者が利用しやすいように図書・書棚の配置替えを実施したが、目標を達成できなかった。今後は、利用者のリクエストにも応じながら新刊図書を含め、多分野にわたる蔵書の充実を図り、利用者が利用しやすい蔵書構成、環境づくりに努める。	文化課	
				実績	70,682	71,706	70,273	65,905						
119	移動図書館車の貸出冊数	冊	10,032	目標値	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600	達成	109.8	利用者のリクエストに応じながら、細やかに巡回したことにより目標を達成することができた。今後も、利用者のリクエストに応じながら読書普及に努める。	文化課	
				実績	10,823	11,618	11,243	11,526						
120	学校図書館への貸出冊数	冊	12,510	目標値	13,200	13,400	13,600	13,800	14,000	達成	111.1	学校図書室と連携し図書を出したことにより、目標を達成することができた。今後も、学校図書室と連携しながら貸出図書の充実を図り、読書普及に努める。	文化課	
				実績	13,840	13,600	15,150	15,330						
121	指定文化財説明板設置件数（累計）	基	40	目標値	48	56	64	72	80	達成	122.2	計画を前倒しで実施した。今後とも老朽化した標柱、説明板の更新を行い指定文化財の周知と啓発に努める。	文化課	
				実績	45	69	80	88						
122	民俗芸能の映像記録件数（累計）	件	17	目標値	19	20	21	22	23	達成	100.0	堅実に映像記録を継続した。	文化課	
				実績	19	20	21	22						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課		
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度	
4 ふるさと文化を育むまちづくり (24指標)	123	遠野文化研究センター活動の参画者	人	—	目標値	50	65	80	90	100	達成	853.3	遠野の歴史を築いた先人について学ぶ土曜講座（9回）や金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」（11回）、昔話教室、遠野学会などの開催により、市民へ学習の機会を提供し目標を達成することができた。	調査研究課	
					実績	4,248	1,665	478	768						
	124	遠野文化フォーラム参加者	人	—	目標値	100	110	120	130	140	達成	307.7	8月23日には「昔話と暴力」をテーマに、あえりあ遠野交流ホールで基調講演とシンポジウムを行った。8月24日には「グリム童話と遠野物語」をテーマに、遠野みらい創りカレッジで若手研究者を中心とした研究報告とシンポジウムを行い、市民を巻き込んで活発な議論が展開された。社会問題に迫るテーマであったため、市民の関心が高く目標を達成することができた。	調査研究課	
					実績	500	250	300	400						
	125	遠野こだわりの「語り部」認定者数	人	376	目標値	550	600	650	700	750	達成	101.4	平成26年度は昔話3人、子ども語り部81人、歴史8人、郷土芸能4人、生業2人の合計98人を認定した。特に子ども語り部の認定が増加し、目標を達成することができた。今後も学校教育と連携しながら、次世代への文化の継承を図る。	調査研究課	
					実績	531	579	612	710						
5 みんなで考え支え合うまちづくり (16指標)	126	市内河川清掃参加者数	人	8,579	目標値	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	未達成	89.3	河川清掃参加者数は目標値に達しなかったが、高齢化が進み参加困難な高齢者のみの世帯の増加や、少子化が進む中でも参加意識が高く、多くの住民や児童生徒の参加が図られた。今後とも、市公衆衛生組合連合会を通じて、事業の周知を図り参加者の確保を図って行く。	環境課	
					実績	8,385	8,034	7,881	7,590						
	127	道路環境整備参加者数	人	2,698	目標値	2,750	2,800	2,850	2,900	2,950	達成	498.8	小・中学生は、河川清掃時に併せてごみ拾いを行うなど地区ごとに計画した清掃活動を行った。また、年に数回の草刈り作業を始め、花壇の整備や冬期間の除雪作業など多岐にわたる取組が行われた。	環境課	
						実績	10,482	13,924	13,659	14,465					
	128	市内花いっぱい運動参加者数	人	3,564	目標値	3,400	3,500	3,700	3,900	4,100	達成	114.2	昨年度と同様の15地域で実施され、目標を達成した。高齢化の進行で、地域に参加できる住民が少なくなっていることも考えられるが、希望郷いわて国体開催に向けた花いっぱい運動事業として展開している例もあり、他の地域にも好事例として拡大していく必要がある。	市民協働課	
						実績	3,200	3,631	5,345	4,454					
	129	みんなで築くふるさと遠野推進事業実施数	事業	66	目標値	52	53	54	55	56	達成	114.5	目標は達成したものの、事業実施数はH25年度より10件減少した。要因としては、新規事業が12件のみで、H25年度より19件減少したことにある。新たな申請団体の掘り起こしのため、補助金制度の周知を図る。	市民協働課	
						実績	61	64	73	63					
130	みんなで築くふるさと遠野推進事業参画者数	人	3,763	目標値	2,200	2,300	2,450	2,550	2,700	未達成	64.9	事業に主体となって取り組む参画者数は、目標を下回った。要因としては、51事業が継続事業であり、事業を実施するにあたって企画立案する組織の構成人員は特定化しているものと考えられる。新たな参画者を増やすため、地域住民の意見要望等を取り入れつつ、新規事業に活用しやすい制度の整備に取り組んでいく。	市民協働課		
					実績	1,585	1,851	2,042	1,654						
131	各委員、協議会の女性参画率	%	22.5	目標値	23.0	23.5	23.9	24.4	24.9	達成	110.7	条例等で設置されている審議会等への女性登用が浸透し目標値は達成したものの、前年度と比較し委員総数及び女性委員数が減少したことから、前年比が微減となった。改選期等の機会を捉えて女性委員の登用を呼び掛け、女性の活躍できる場づくりを更に進めていく。	生涯学習スポーツ課		
					実績	20.7	23.8	27.3	27.0						
132	地域活動における女性の参画率	%	23.5	目標値	24.4	25.4	26.4	27.5	28.6	未達成	78.9	審議会等での女性登用は目標を達成しているものの、地域活動における女性の参画率は目標を下回るものとなった。敬老会や地域づくり大会等をはじめとする様々な地域活動に女性の協力が不可欠ではあるが、依然として女性が組織の役職に就くことが敬遠されている現状が見える数値となった。引き続き、地区センター等と連携し積極的な女性登用を呼び掛けるとともに、「固定的役割分担意識」を解消し、女性が活躍しやすい社会づくりに取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課		
					実績	23.4	24.2	22.0	21.7						
133	市長と語ろう会開催回数	回	27	目標値	18	18	18	18	18	未達成	0.0	平成26年度は開催できなかったが、平成27年度は、第2次市総合計画策定に向け「市長と語ろう会」を開催し、市民の暮らしの向上につなげていく（平成27年4～5月にかけて11ヶ所で開催。参加者342人、意見・提言数は169件）。	企画総括担当		
					実績	9	0	11	0						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課					
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度				
5 みんなで考え支え合 うまちづくり (16指標)	134	経営改革大綱実行計画の達成率	%	87.6	目標値	80.0	80.0	90.0	90.0	100.0	未達成	85.7	前年度よりも改革の取り組みが進んだものの、目標値に近づくことはできなかった。全体進捗率も計画値87.8%に対して68.0%と計画を下回っている。本年度は、実行計画の最終年度であることから、目標達成に向け改革を進める。	企画総括担当				
					実績	43.9	70.4	74.0	77.1									
	135	国土調査進捗率	%	81.3	目標値	81.7	82.0	82.4	82.8	83.5	達成	101.7	調査対象面積533.18km ² 中、調査済み面積448.97km ² 。平成26年度の調査は、計画面積のとおり実施した。今後も国土調査の早期完了に向け、調査体制の強化方法を検討しながら事業推進を図る。	建設課				
					実績	82.0	82.5	83.6	84.2									
	136	市税等の収納率（現年分）	%	96.14	目標値	96.26	96.31	96.34	96.38	96.40	達成	101.1	公金関係課による催告書の共同発送を、4月・7月・11月の3回実施し、その翌月の5月・8月・12月を徴収強化期間として、電話催告や訪問催告を実施したが、現年度分の収納率は前年対比で0.01ポイントの減となり、平成21年度以来、前年度収納率を下回る結果となった。収納率向上に向け、税務課窓口の納付啓発ディスプレイやチラシ、広報による納期内納付の啓発活動を実施した。また、今後も滞納整理専門チームにおいて、共通滞納者の生活実態や滞納処分状況等の情報共有を図りながら、積極的な啓発活動を展開して収納率の向上に結びつける。	税務課				
					実績	97.22	97.44	97.47	97.46									
	137	経常収支比率（普通会計）	%	83.4	目標値	85.9	85.8	85.7	85.6	85.5	達成	100.0	財政健全化を示す「経常収支比率」は、前年度よりも4.5ポイント増加の83.2%という結果になった。昨年度に行った震災復興財源確保のための職員給与削減が終了したことにより人件費が前年度に比べ約4,000万円増加したこと、若手国体サッカー会場整備や公共牧場再編整備などに係る借入金の償還が始まり公債費が約2億8,700万円増加したこと、普通交付税が約1億5,900万円減少したことが主な要因である。なお、達成率は、目標値の範囲内であることから100%とした。	財政担当				
					実績	80.6	81.0	78.7	83.2									
	138	実質公債費比率（普通会計）	%	15.3	目標値	14.1	14.9	15.6	16.3	17.0	達成	100.0	標準財政規模に対する一般会計が負担する元利償還金等の比率を表す「実質公債費比率」は、前年度よりも0.4ポイント増加の11.2%という結果になった。若手国体サッカー会場整備や公共牧場再編整備などに係る借入金の償還が始まり公債費が約2億8,700万円増加したことに加え、木質バイオマスエネルギー活用推進事業に係る債務負担行為額1億9,800万円増額したことが主な要因である。なお、達成率は、目標値の範囲内であることから100%とした。	財政担当				
					実績	11.8	12.0	10.8	11.2									
139	建設事業に充当した市民1人当たりの借入金残高（普通会計）	千円	442	目標値	548	564	600	598	651	達成	100.0	健全財政5カ年計画に基づき地方債の発行を計画的に行なった結果、普通会計における市民1人当たりの借入金残高の実績額は477千円という結果になった。なお、達成率は、目標値の範囲内であることから100%とした。	財政担当					
				実績	467	505	497	477										
140	市職員数	一般職員	人	356	目標値	345	339	331	323	315	達成	100.8	平成23年度から平成27年度までの第二次定員管理計画を策定し、それに基づき定員管理を進めている。平成26年4月1日現在では、計画値376人に対して実職員数は373人で、計画より3人前倒しとなっている。	総務課				
					実績	344	333	324	321									
		消防職員	人	53	目標値	53	53	53	53	53	達成	100.8						
					実績	52	52	53	52									
計	人	409	目標値	398	392	384	376	368	達成	100.8								
			実績	396	385	377	373											
141	市民窓口サービス年間取扱件数 *震災により、とびあ庁舎に移転したことから、平成24年度に目標値を見直した。	件	9,605	目標値	9,650	4,000	4,050	4,100	4,150	達成	111.9	とびあ内にある市民サービスコーナーは、平日（とびあ定休日除く）は、午後5時15分から午後7時まで、土日祝日（年末年始除く）は、午前9時30分から午後5時まで開設している。取扱件数も前年度より増加しており（諸証明発行取扱件数1,530件、公金収納取扱件数2,864件）、平日や日中に来庁できない方々にとって利便性があり、市民サービスの充実につながっている。	市民課					
				実績	4,284	4,252	4,505	4,587										
				とびあ窓口サービス	件	9,466	目標値	9,500	3,850					3,900	3,950	4,000	達成	111.9
							実績	4,093	4,002					4,277	4,394			
小友郵便局窓口サービス	件	139	目標値	150	150	150	150	150	達成	111.9								
			実績	191	250	228	193											